



栃木県女性団体連絡協議会とは？

設立 1998年4月 32団体で結成

目的 栃木県域の女性団体相互の連絡を密にし、女性問題の解決を図り、男女共同参画社会の実現を目指すことを目的とする

所属団体 2024年11月現在11団体

栃木県ひとり親家庭連絡協議会 とちぎつばさの会
ラポリテイクスとちぎ 宇都宮市女性団体連絡協議会

鹿沼アテップ とちぎパラレルの会

P・G・Nひまわり パルティショップ委員会

栃木県商工会連合会女性部 栃木県生活協同組合

新日本婦人の会栃木県本部

活動内容

- ・ 県からの委託事業として、グループ・団体活性化セミナー、連携ネットワーク懇談会、役員・リーダー研修会の実施。展示コーナーの運営・管理

2022年度より県民のつどいは委託事業から共催に変わりました。

- ・ パルティ事業への参加・協力 フェスタinパルティ参加
- ・ 全国男女共同参画フォーラム、全国女性会義参加
- ・ 依頼を受けた各懇談会、審議会等への委員派遣
- ・ その他、男女共同参画を目的とした事業への参画



2024年度のテーマ

ジェンダー平等の社会を

～今できることを考えよう～

当会では、全ての人が自分らしく生きるための自主事業として、「自分たちに今できること」は何かを考え、2022年度はDVの意識調査、2023年度はLGBTQについての意識調査を実施しました。

今年度は、性別による無意識の思い込み「アンコンシャス・バイアス」についての意識調査を実施しました。まずは自分の中にあるアンコンシャスバイアスに気づき、それにとらわれず、相手に押しつけない意識を持つことを目的として意識調査を実施し、多くの方にご協力をいただきました。

ここでは①自主事業である上記調査の報告 ②委託事業の“皆で考えよう私の健康”「教えて？薬剤 トクホ 機能性表示食品 サプリの違いについて」学んだ役員・リーダー研修会。③廣瀬隆人先生を講師に迎えて“あなたのアンコンシャス・バイアス“考えて見ませんか”とのテーマで実施した「グループ・団体活性化セミナー」等3つの事業をご報告を致します。

2024役員・リーダー研修会実施

2024年7月18日(木) 13:30～15:30 パルティ301研修室

小林製薬の紅麹サプリメントが原因と疑われる健康被害が大きく広がり、私たち会員の間でも医薬品、トクホ、機能性表示食品、サプリメントなどの違いがよくわからないため不安が広がりました。そこで、会員の中に薬剤師がいたこともあり健康講座を企画、実施しました。当日は32名の参加者を迎え、講話後の質疑応答も活発に行われました。

“皆で考えよう わたしの健康”

講師 薬剤師 永倉初江さん

日本病院薬剤師会有効会員 日本病院薬剤師会功労賞受賞
元神奈川県病院薬剤師会副会長

日 時 7月18日 (木)
13:30～15:30
会 場 パルティ 3F 301
定 員 40名
参加費 無料
対 象 どなたでもご参加下さい
締 切 7月9日(火)



「2024役員・リーダー研修」 アンケートより

皆で考えようわたしの健康

「薬剤 トクホ 機能性表示食品 サプリ」
のちがいについて学ぼう

定員40名 当日参加者32名

年代	該当者数・人	%
～40代	1	4
50・60代	6	24
70代～	18	72

参加のきっかけ	該当者数・人	%
講師	1	4
研修の内容	5	20
所属団体からの誘い	18	72
チラシ	0	0
その他	1	4

	該当者数・人	%
とても良かった	15	71
良かった	5	24
普通	1	5
良くなかった	0	

☆研修についての意見・感想より

- ・県民、市民、消費者が健康に興味を持ち、賢くなることが、健康長寿につながり、wellbeingの社会を築くことにつながるものと感じた。
- ・薬剤、トクホ、機能性表示食品、サプリの違いや内容をあまり意識しなかったが、必要以上の摂取は害をおよぼすことを認識した。ラベルの中身をこれからよく読んで、そしてなるべく医者からの指示に従って、薬を飲んでいこうと思った。
- ・薬品、トクホ以外にはチェック体制がないことに驚いた。これから、サプリなどを飲むときは成分を見て調べてからにしたい。
- ・サプリメントを軽く感じていました。成分が凝縮されていることまで考えていませんでした。自分の健康をよく考えていきたいと思いました。
- ・とても勉強になった。サプリメントも注意して飲まないといけないと思った。
- ・とても詳しくお話くださりありがとうございました。自分も意識していくことの大切さがわかりました。
- ・薬剤師など相手を疑うとかではなく、自分自身の知識や意識を上げないといけないと思った。

研修会参加者の意見・感想 (アンケートより)

- 内容も分かり易く大変に良かった。気をつける点を今後十分に参考にします。
- 医薬品の分類は中が広くて難しいと思いました。
- 病気しないよう、薬はなるべく飲まず、健康につくると思いました。
- 日頃、不安に感じていることを具体的に教えていただき大変に良かった。友人にも伝えたい。
- 必要以上に薬は飲まないようにしたい。テレビ等のCMに惑わされないようにしたい。
- 今、とても気になっていたことなので注意深く聞いた。また、飲んでいるサプリやs薬に関心を持っていきたい。
- 薬剤師・専門家の話を聞いて良かった。機会があればまた聞きたい。サプリは服用したくないが関心がある。短い時間なので自分の問題なのだが、理解できない部分もあった。気づきもあ
- 米国の市民の意識の高さと力をもって、意見を通して、先生の現場に携わり薬品について十分に勉強してきた人で理解できた。
- 病院で出された薬品は信用してもよいのか、飲み過ぎていないか不安です。
- 私自身、いろいろ薬を飲んでいるので、そのようなことが聞きたかった。あまり、参考になることは当てはまらず少しガッカリ。
- 薬、サプリはなるべく飲まない・医薬品について注意しようと感じた。
- 日常的にサプリの広告が多く、各人のリテラシーを上げていく必要を感じた。
- 理由なく自己判断が多いので機会を得て知識にしたい。
- 処方薬のサプリによって毒を生じることを学べて、今後、注意していきたい。薬害の恐ろしさを改めて認識できた。
- 本日のテーマは、日常生活で見落とされがちなものに気づくことができて良かった。

「2024役員・リーダー研修会」会場写真



「アンコンシャス・バイヤス調査」を実施

右記の17項目にチェックしていただき、年代別にまとめてみました。

2024年6月～9月実施



「そう思う」という項目のNo.に○をつけてください

No.	質問項目
1	親が単身赴任中という、父親を想像する（母親を想像しない）
2	体力的にハードな仕事を女性に頼むのはかわいそうだと思う。
3	お茶出し、受付対応、事務職、保育士という、女性を思い浮かべる。
4	DV(ドメスティック・バイオレンス)と聞くと男性が暴力を働いてると想像する。
5	共働きで子どもが病気になったときは母親が休んだ方がいいと思う。
6	パートは「主婦が家計補助のために働いている」というイメージがある。
7	社会人ならば結婚して家庭を持つべきだと思う。
8	上司が女性であるのが嫌だ。
9	職場の雑用は女性が行うべきだと思う。
10	受付・事務職と聞くと女性を連想する。
11	リーダーや管理職になりたい女性は男性に比べて少ないと思う。
12	男性が育児や介護をするべきではないと思う。
13	自治会は、実際に参加するのは女性でも、代表は男性が良い。
14	大きな商談や大事な交渉は男性が担当すべき。
15	女の子に理系の進路は向いていない。
16	男の子がおままごとをするのはおかしい。
17	女らしい、男らしいとは褒め言葉と感じる。

アンコンシャス・バイヤス調査結果

回収数587名

No.	質問項目	～40代 (149枚)		50／60代 (206枚)		70代～ (232枚)		合計 587枚		全体で多い順
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
1	親が単身赴任中という、父親を想像する（母親を想像しない）	96	64	139	67	136	59%	371	63%	1
2	体力的にハードな仕事を女性に頼むのはかわいそうだと思う。	76	51	124	60	135	58%	335	57%	2
3	お茶出し、受付対応、事務職、保育士という、女性を思い浮かべる。	51	34	81	39	126	54%	258	44%	4
4	DV(ドメスティック・バイオレンス)と聞くと男性が暴力を働いてると想像する。	70	47	107	52	153	66%	330	56%	3
5	共働きで子どもが病気になったときは母親が休んだ方がいいと思う。	16	11	47	23	96	41%	159	27%	8
6	パートは「主婦が家計補助のために働いている」というイメージがある。	52	35	72	35	118	51%	242	41%	6
7	社会人ならば結婚して家庭を持つべきだと思う。	12	8	35	17	61	26%	108	18%	9
8	上司が女性であるのが嫌だ。	5	3	14	7	22	9%	41	7%	12
9	職場の雑用は女性が行うべきだと思う。	0	0	8	4	11	5%	19	3%	16
10	受付・事務職と聞くと女性を連想する。	53	35	71	34	99	43%	223	38%	7
11	リーダーや管理職になりたい女性は男性に比べて少ないと思う。	57	38	78	38	126	54%	261	44%	4
12	男性が育児や介護をするべきではないと思う。	0	0	6	3	16	7%	22	4%	15
13	自治会は、実際に参加するのは女性でも、代表は男性が良い。	8	5	24	12	31	13%	63	11%	11
14	大きな商談や大事な交渉は男性が担当すべき。	3	2	15	7	19	8%	37	6%	13
15	女の子に理系の進路は向いていない。	0	0	2	9	11	5%	13	2%	17
16	男の子がおままごとをするのはおかしい。	3	2	7	3	20	9%	30	5%	14
17	女らしい、男らしいとは褒め言葉と感じる。	14	9	28	14	41	18%	83	14%	10
□黄色の塗り潰しはチェック50%以上 □青色の塗り潰しはチェック10%以下										

性別による無意識の思い込み調査（年代別）2024年6月～9月実施

%

親が単身赴任中という、父親を想像する

体力的にハードな仕事を女性に頼むのはかわいそうだと思う

お茶出し、受付対応、事務職、保育士という女性を思い浮かべる

DVと聞くと男性が暴力を働いていると想像する

共働きで子どもが病気になった時は母親が休んだ方がいいと思う

パートタイマーは主婦が家計補助のために働いているというイメージ

社会人ならば結婚して家庭を持つべきだと思う

上司が女性であるのが嫌だ

職場の雑用は女性が行うべきだと思う

受付・事務職と聞くと女性を連想する

リーダーや管理職になりたい女性は男性に比べて少ないと思う

男性が育児や介護をするべきではないと思う

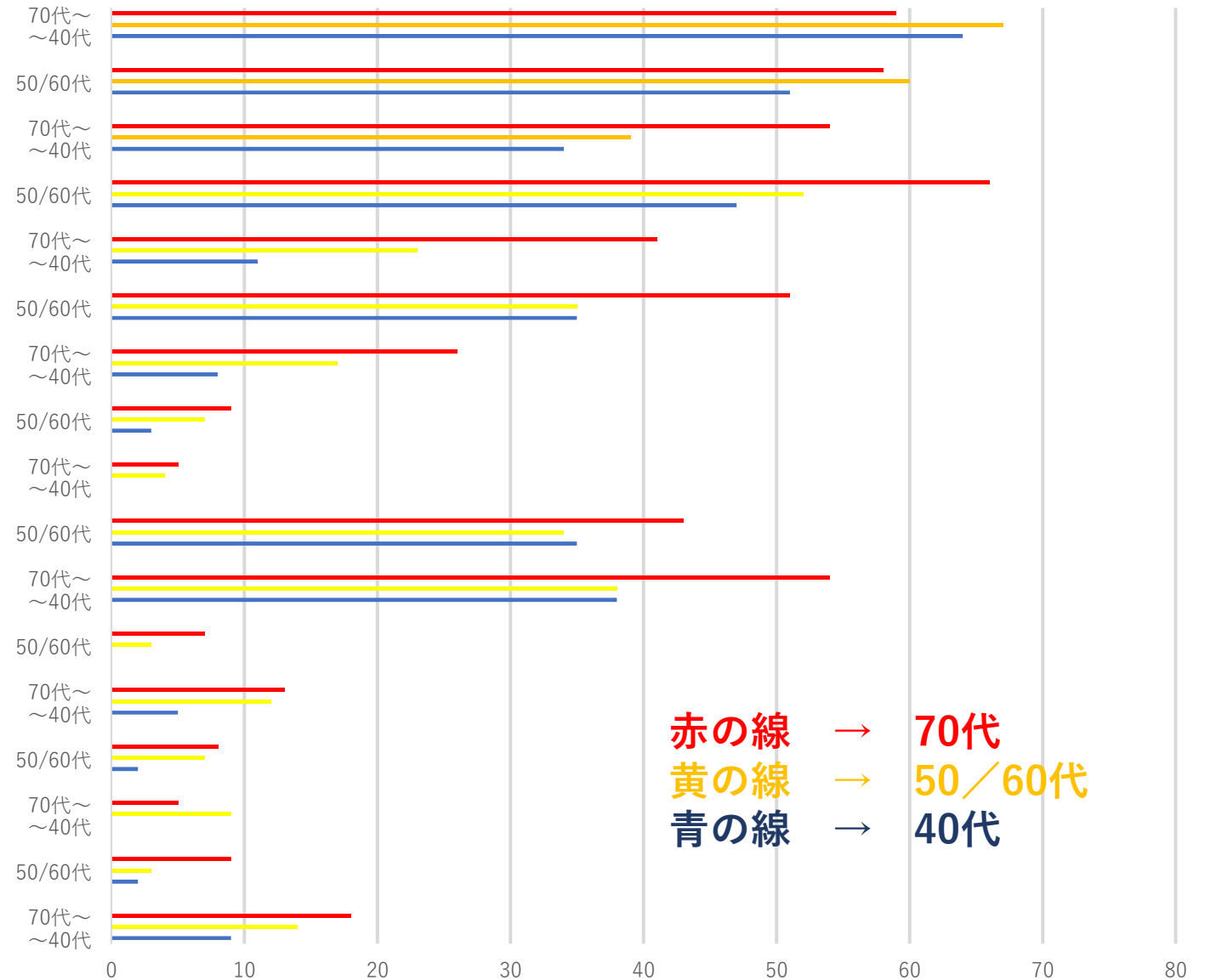
自治会は、実際に参加するのは女性でも、代表は男性が良い

大きな商談や大事な交渉は男性が担当すべき

女の子に理系の進路は向いていない

男の子がおままごとをするのはおかしい

女らしい、男らしいとは誉め言葉と感じる



アンコンシャスバイアス調査に寄せられた意見・感想

- ・学校でも男女別に並ぶ時、男女差別を感じる。
- ・自身が性的マイノリティであり、バイアスの考えを嫌っていたが、この設問を見たときに、一番それに捕らわれている自分を感じた。
- ・時代が変化を要請しているのに固定観念が払拭できない部分がある。
- ・リーダーや管理職については、女性だけでなく男性も近年給与が特別あがるわけではなかったらなりたくないという若者が増えている。
- ・男女の区別、差別をせずにその人の特性、個性を大切に生きて活動をしていけば良い。
- ・テレビのCMを見ると、私にも思い込みがあると思う。得意なこと、その人に向いているというのは性別に関わりなくあると思う。
- ・アンケートに答える中で、性別に捕らわれているなと思う、常に意識していくことが大切。
- ・無意識の思い込みは、社会環境や家庭環境に寄るところが大きいと感じる。
- ・自分には思い込みはあまりないと思っていたがアンケートをすることで、まだまだ根深いことがわかった。
- ・アンコンシャス・バイアスは議員、首長、管理職こそ意識して欲しいと思う。
- ・女性が声をあげれば「ヒステリーだ」「更年期」と言われて相手にされず結局黙るしかない現状。そのような中でも若い世代から少し少しずつ変化は起きている感覚はある。世の中早く変わって欲しい。
- ・病気の子どもについては、子どもの意識が父母のどちらに居てもらいたいかを基準としたい。
- ・アニメ時代と思うので、ジェンダーの考えを基にしたアニメに期待したい。

2024「第1回グループ・団体活性化セミナー」実施

2024年10月24日(木) 10:00～11:45

男女共同参画推進センターパルティ2F 301号室

“アンコンシャス・バイアス”

私の当たり前、無意識の思い込みではありませんか？

《講師 廣瀬隆人氏 一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事》

- アンコンシャス・バイアス、誰もが必ず持っているもので、それ自体に良い悪いはありません。まずは自分の中にあるアンコンシャス・バイアスに気づき、それにとらわれない、相手に押しつけない意識をもつことが大切です。
- 2024年度自主事業として、アンコンシャス・バイアス(性別による無意識の思い込み)調査を実施しました。調査の中で、多くの無意識の思い込みがあることを実感したとの意見が寄せられました。
- そこで、今年度の活性化セミナーでは、廣瀬先生の講話でアンコンシャス・バイアスについて楽しく学び、皆で考える機会に出来ればとの思いで企画・実施致しました。

“アンコンシャス・バイヤス”

私の当たり前、無意識の思い込みではありませんか？

講 師 「廣瀬 隆人氏」

特定非営利活動法人プロジェクト宙理事長他

日 時 2024 年 10 月 24 日(木)

10：00～

会 場 とちぎ男女共同参画センター

パルティ 3F 301

参加者 30 名



無意識の思い込み

アンコンシャス
気づかないで 自覚しない
無意識の



何が問題なのか

科学的な根拠がない、証拠がない
傷つく人や、不利益を被る人がいる。
多様性の芽を摘まれ、イノベーションが阻害される。
優秀な人材が流出する。
やる気はそがれ、正當に評価されていない。
だれもが働きにくい、暮らしにくい。
不幸な社会を作ってしまう。

自分の中にある「当たり前」の再検討

・ステレオタイプ⇒経験に基づいて生きやすく

活性化セミナーでの講話より抜粋

- 無意識の思い込み⇒人権の基本
- 性別・学歴・世代などみんなバイヤス。思い込みが生き辛さを。静かに変化する物に弱い。
- 色々な人がいることを受け入れよう。おしゃべりは重要。女性だけに求められる「当たり前」これがアンコンシャスバイヤス
- あなたがお腹を痛めて産んだ子でしょ・母親が仕事を休んで 看病するのが当たり前でしょ。
- 常識は一つではない。雪が解けたら「 」になる【水・春・夏・楽・・・】
- たとえばよく言う「親が悪い」という風に言うのはもうやめませんか。
- 世の中にいろんな人がいることを理解
- アンコンシャスは誰にでもあるもの ・仕事に性差はない、個人差がある。
- アンコンシャスバイヤスは時代によって変化している。間違っていたら、「改めよう」と言おうね。
- トーンポリシング⇒「言いたいことはわかるけど、そんな言い方 しなくても」＝性を無視した一括り
- アンコンシャス・バイヤスは日常にあふれていて、誰にでもあるものです。気づかないで「決めつけたり」「押し付けたり」してしまうことが問題。
⇒「気づこうとすること」なりよりも大切だということを学んだ研修でした。



2024 活性化セミナー 会場写真



女連協と一緒に活動しませんか？



ジェンダーフリーの社会推進のために多くの人・団体の力を必要としています。
一緒に活動していただく人・団体を募集しています。

お気軽にご連絡下さい。

お問い合わせ 栃木県女性団体連絡協議会事務所 とちぎ男女共同参画センター内
電話028-665-7710 (火曜日 10:00~16:00)